

北陸自動車道 大洞地区土質調査

特 記 仕 様 書

令和 6 年 4 月

東日本高速道路株式会社 新潟支社

上越管理事務所

第1章 総則

1-1 履行内容

1-1-1 調査等名 北陸自動車道 大洞地区土質調査

1-1-2 路線名 高速自動車国道 北陸自動車道

1-1-3 履行箇所 自) 新潟県上越市大字茶屋ヶ原
至) 新潟県糸魚川市大字桂

1-1-4 主な履行内容

内訳書の項目		数量	備考
調査業務	調査ボーリング	35m	φ86(鉛直下)
	標準貫入試験	35回	
	簡易揚水試験	11回	
	現場内小運搬	1式	
	準備及跡片付け	1式	
	足場仮設	1箇所	傾斜地足場 15° ~30°
	岩石試験	1シリーズ	三軸圧縮試験
	ボーリング孔内ガイド管設置	1箇所	
	交通費・日当・宿泊費	1式	

1-1-5 履行期間

履行期間は、契約保証取得の翌日から210日間とする。

1-2 適用する共通仕様書

契約書第1条に規定する「調査等共通仕様書」(以下「共通仕様書」という。)は、令和5年7月版とする。

1-3 計画工程表

1-3-1 計画工程表の記載事項

共通仕様書1-14-1(2)に示す作業計画書中の計画工程表の作成にあたっては、下記の項目ごとに作業完了時期を明示し提出するものとする。ただし、記載する項目は監督員と受注者との協議の上変更することができるものとする。

計画工程表は共通仕様書1-22に規定する打合せの実施時期についても十分検討の上作成するものとし、これらの事項は計画工程表に記載するものとする。

種別	項目	備考
調査業務	調査ボーリング	
	標準貫入試験	
	簡易揚水試験	
	ボーリング孔内ガイド管設置	
	岩石試験	
成果品	報告書作成	

1-3-2 計画工程表に基づく作業状況の報告

受注者は共通仕様書 1-2-2 に規定する打合せの実施時に、作業の実施状況を計画工程表に記載した上で監督員に報告をするとともに、調査等打合簿に添付するものとする。

なお、受注者は前項で規定した完了時期が著しく変更となる場合は、共通仕様書 1-1-4-3 に基づき変更計画工程表を監督員に提出するものとする。また、その結果調査等内容の変更が生じる場合の取扱いは受注者と監督員とで協議の上決定するものとする。

1-4 打合せ簿の作成及び提出について

受注者による共通仕様書 1-2-2 に規定する調査等打合簿の監督員への提出は、打合せ後 7 日以内（休日等を除く）に監督員に提出するものとする。

また、監督員は受注者より提出のあった調査等打合簿を受領後 7 日以内（休日等除く）に受注者へ返送するものとする。

1-5 関係官公署及び関係会社への手続き

共通仕様書 1-16 に示す本業務に関連する主な施設及び管理者は下表の通りとする。

（１）河川

河川名	管理者名	摘要
普通河川 濁澄川	糸魚川市	水利用申請等

（２）電力、通信施設関係

位置	路線・施設名	管理者名	摘要
K P 3 3 2 . 9 ～ K P 3 3 2 . 6	メタル通信・電源ケーブル・ 光通信ケーブル	東日本高速道路（株）	トンネル内配管

1・6 光通信ケーブル等損傷事故防止対策

1・6・1 光通信ケーブル等損傷事故の防止

受注者は、高速道路に埋設されている光通信ケーブル等管路の損傷事故を防止するために埋設物近接箇所の調査の施工に当たっては、東日本高速道路（株）、KDDI（株）「光通信ケーブル等損傷事故防止マニュアル（令3年7月）」（以下「マニュアル」という。）に基づき万全の措置を講じなければならない。

1・6・2 光通信ケーブル等損傷事故防止監理者

- （1）受注者は、高速道路に埋設されている光通信ケーブル等管路の損傷事故を防止するため、調査の計画、現場指導等の強化を実施する専任の光通信ケーブル等損傷事故防止監理者を定め、監督員に通知しなければならない。
- （2）光通信ケーブル等損傷事故防止監理者は、「マニュアル」の内容を十分理解し、光通信ケーブル等管路の損傷事故防止に関して近接作業対象となる管路等の設置状況を確認、近接作業箇所の回避や移設等の検討、試掘や管路等の防護、埋設標柱の設置等万全の措置を講じられるよう作業員に安全教育の徹底を図り、指導及び監督を行うものとする。また、試掘時及び近接作業時に現場に立会い、事故防止に関する指導、監督を行わなければならない。
- （3）光通信ケーブル等損傷事故防止監理者は、管理技術者及び現場作業責任者と兼ねることができるものとする。

1・6・3 光通信ケーブル等の確認等について

光通信ケーブル等について、貸与された資料等を確認のうえ、詳細の確認方法、試掘の実施判断、試掘方法等の検討に当たっては、「マニュアル」に基づき適切に行うものとする。

1・6・4 光通信ケーブル等損傷事故防止対策に要する費用

光通信ケーブル等損傷事故防止対策に要する費用は諸経費に含むものとし、別途支払は行わないものとする。ただし、監督員が埋設物に対する試掘等の調査を指示した場合はこれに従うものとし、これらに要する費用については監督員と受注者とで協議し定めるものとする。

1・6・5 施工計画書

受注者は、埋設物近接箇所の調査の施工について、光通信ケーブル等損傷事故防止対策を記載した施工計画書を、「マニュアル」に基づき監督員に提出しなければならない。

第2章 業務細部に関する事項

2-1 調査ボーリング

2-1-1 ボーリング箇所

調査ボーリングは調査位置図（参考図）に示す箇所で行うものとするが、現地にて実施位置を精査しボーリング箇所を監督員に報告するものとする。その後の取扱いについては監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

2-1-2 給水

調査ボーリングにおける掘削は有水ボーリングで行うため、給水（給水管及び給水ポンプ設置）をしながら行うものとする。

ボーリング番号
R6BV-1

2-1-3 調査ボーリングの打ち止め位置

調査ボーリングの打ち止め位置は、監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

2-1-4 標準貫入試験

共通仕様書 3-5-4 に示す標準貫入試験の内訳は次のとおりとする。

土質区分	試験回数
粘性土・シルト	5 回
礫混じり土砂	5 回
軟岩	25 回

なお、標準貫入試験において、打撃回数が上限（50 回）に達した場合は、その貫入量を記録しておくものとする。

軟岩での標準貫入試験の打撃回数が 50 を超過し、以降の調査でも 50 を超えることが明らかなる場合には監督員と協議し、試験回数を変更できるものとする。

2-2 孔内試験

2-2-1 簡易揚水試験

簡易揚水試験とは、掘進中のボーリング孔において一定区間ごとに孔内水を汲み上げ、揚水量、水位の回復状況を測定し、各区間の地下水量及び透水係数を求めるものである。簡易揚水試験には透水係数を求めるための資料整理を含むものとする。

ボーリング番号	摘要
R6BV-1	調査区間は 3 m 毎とする。

簡易揚水試験の検測数量は試験回数（回）とする。

2-2-2 ボーリング孔内ガイド管設置

ボーリング孔内ガイド管設置とはボーリング孔内に傾斜観測機器を設置するためのガイド管を設置するものである。ボーリング孔内ガイド管設置の内訳は次のとおりとする。

ボーリング番号	摘要
R6BV-1	<ul style="list-style-type: none">・ボーリング孔に挿入式孔内傾斜計を挿入するためのガイド管を埋設する。・2軸方向の傾斜観測機器が設置できる形状のガイド管を設置するものとする。

2-3 足場仮設

共通仕様書 3-16 で示す足場仮設について、本業務で必要となる種別は次のとおりとする。

内訳		ボーリング番号
傾斜地足場	地形傾斜 $15^{\circ} \sim 30^{\circ}$	R6BV-1

2-4 現場内小運搬

共通仕様書 3-17 (1) に示す現場内小運搬の内訳は、次のとおりとする。

ボーリング番号	摘要
R6BV-1	

現場内小運搬にあたり、高速道路の交通規制並びに交通安全対策が必要になる場合は、監督員と協議するものとする。また、現地の状況により現場内小運搬を変更する場合は、監督員と協議するものとする。なお、これらに要する費用は、別途監督員と協議し定めるものとする。

2-5 岩石試験

共通仕様書 3-12-1 に示す岩石試験の方法は次の通りとする。

試験項目	試験方法	摘要
岩石の三軸圧縮試験	J G S 2 5 3 1	1 シリーズ 3 ケ

2-6 打合せ

本業務における打合せの回数は業務内容確認検査を含め、4回とする。打合せの検測数量は1式とし、履行状況により打合せ回数が増減しても打合せ費用の変更は行わないものとする。ただし、監督員が打合せ回数の追加を指示した場合や業務の追加、変更に伴い打合せを追加する必要がある場合の取扱いが監督員と受注者間で協議の上決定するものとする。

2-7 成果品

成果品については共通仕様書 1-45 に従うものとし、報告書の表紙は黄色、黒文字製本とする。

第3章 補足事項

3-1 調査内容の変更及び追加について

下記に示す事項については、本業務の内容を変更・追加する場合があるので、受注者は監督員と緊密な連絡を取るとともに、これについて監督員の指示があった場合は速やかにその指示に従うものとする。

なお、これらに要する費用は監督員と受注者で協議して定めるものとする。

- (1) 調査ボーリングにおける、コアの状況等に基づく土質調査の追加
- (2) 地すべり面の検討・解析業務に必要な土質試験の追加
- (3) 調査実施位置等の精査による高速道路の交通規制の追加
- (4) 私有地の借上料等、共通仕様書 1-18 に示す補償費等の追加
- (5) 環境保全（仮囲い）の追加

以 上